

～メキシコ留学日記 11 月号～

見山達哉

はやいもので、メキシコに来てからもう3ヶ月以上が経ちました。現在、CEPE（メキシコ国立自治大学付属スペイン語学校）の最後の授業が終わり、明日からは学期末テストを控えております。テスト後は、約1ヶ月の長期休暇が始まるので、気を引き締めてテストに望みたいと思います。

さて、11月は3連休を利用してメキシコの中央部に位置するケタロ州へ小旅行をしました。今回のレポートではケタロ州の魅力についてお伝えできたらと思います。

ケタロ州

ケタロ州はバヒオ地区にある州のひとつです。バヒオ (Bajío) とは盆地を意味し、メキシコ高原の盆地地域一帯 (アグアスカリエンテス・ハリスコ・グアナファト・ケタロ・サンルイスポトシ・サカテカスの6州) がバヒオ地区と呼ばれています。また、メキシコへ参入した日系企業のうち約9割がバヒオ地区に進出しております。現在は、主に自動車メーカーの進出に伴って、サプライヤーのさらなる進出が期待されており、この地区一帯での一大サプライチェーンの形成が期待されております。私は大学でグローバルビジネスを専攻しているため、外資系企業から注目を浴び、今後さらなる発展が期待されるバヒオ地区はメキシコへ渡航する前から興味をもっていた地区のひとつでした。

その中でも、ケタロ州はメキシコシティから車で約3時間、グアナファト州まで約1時間と立地的な優位性が高い州であり、多くの外資系企業が進出しております。また年間を通しての温暖な気候、安定した治安、物価の安さなどの利点から、メキシコ人の友人からケタロで暮らしたいという声を聞くことも珍しくありません。まず、ケタロについて近代的なバスターミナルに驚きました。そして、バスターミナル周辺は建設中の外資系ホテルが多くあり、ケタロの街がこれからさらに発展していくことが目に見えてわかりました。また、ケタロの中心部の歴史地区は世界遺産にも登録されており、コロニアル様式の建物が非常に美しかったです。歴史地区は小さくまとまっているため、1日もあれば余裕で見て回ることができます。そして、ケタロの街のシンボルは全長 1280m にも及ぶ水道橋です。私は夜に展望台へ見に行ったのですが、ライトアップされた水道橋は壮観でした。また、中心部から 10km ほどの所に大規模なショッピングモールもあり、ケタロの暮らしやすさを感じ取ることができました。



(ケタロの水道橋)



(ショッピングモール)

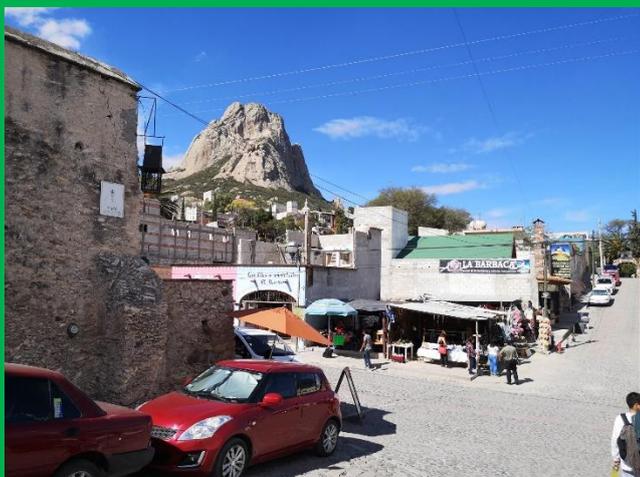


(ケレタロの歴史地区)

Peña de Bernal

中心部からバスで1時間ほどの所に、ペーニャデベルナル (Peña de Bernal) という世界で3番目に大きい一枚岩があります。私は時間の関係上、頂上まで登ることはできなかったのですが、岩のふもとにある村 (Peblos Mágicos) から見た一枚岩は圧巻でした。また、ふもとにあるプエブロ・マヒコ (Pueblo Mágico) もカラフルでとても可愛い村なので併せて訪れることをおすすめします。

今回のレポートはここまでとなります。それでは、また Hasta Pronto!!



(Peña de Bernal)



(カラフルな教会)